

APICなしのCLIによるACIスイッチ（リーフ/スパイン）のアップグレード/ダウングレード

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[解決方法](#)

[ステップ 1: ACIファームウェアイメージのスイッチへのアップロード](#)

[ステップ 2: 既存のスイッチブート変数のクリア](#)

[ステップ 3: 新しいスイッチのブート変数の設定](#)

[ステップ 4: ブート変数の確認](#)

[ステップ 5: シャーシのリロード](#)

[確認](#)

はじめに

このドキュメントでは、Application Policy Infrastructure Controller(APIC)を使用しないアプリケーションセントリックインフラストラクチャ(ACI)スイッチのアップグレード/ダウングレードについて説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- N9K-C93180YC-EX
- コンソール ケーブル
- ユニバーサルシリアルバス(USB)ストレージ (FAT32としてフォーマット)
- Cisco Nexus ACIファームウェアイメージ

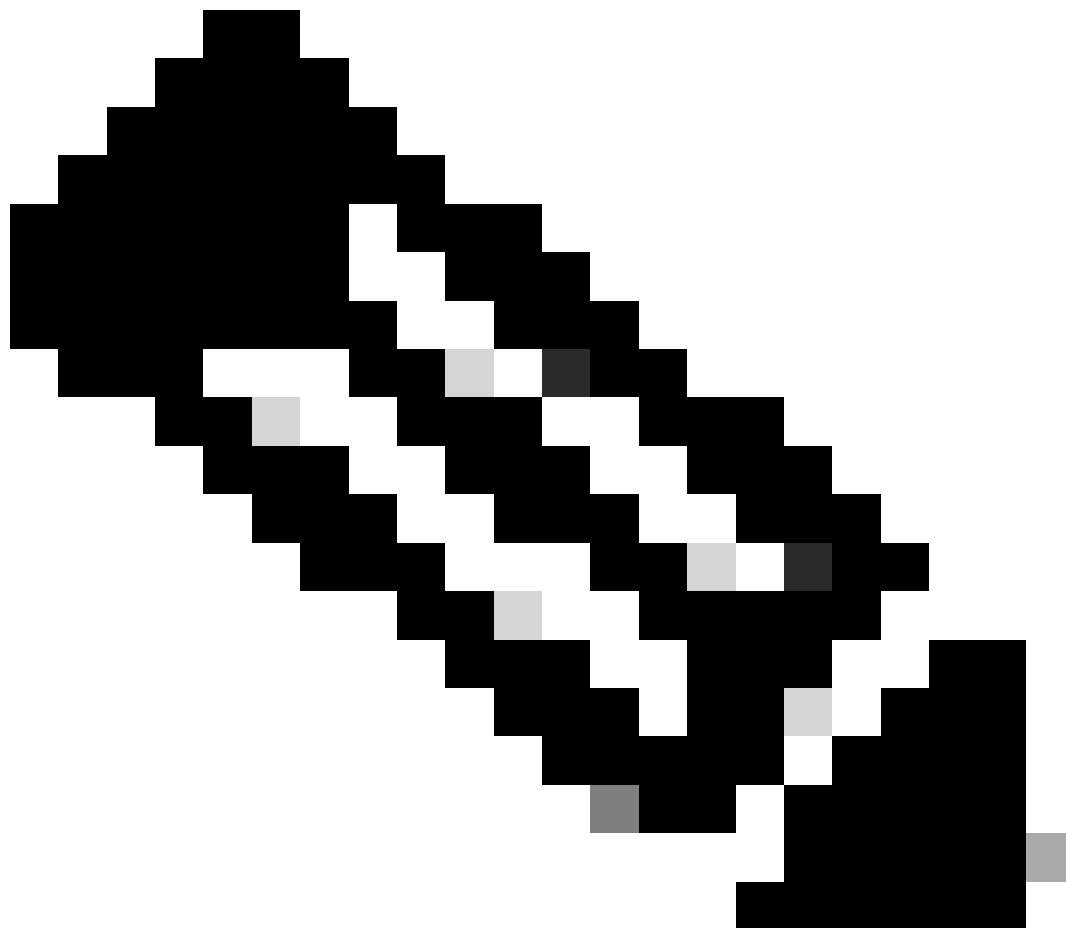
このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認して

ください。

問題

機器のメンテナンスフェーズでは、機器のハードウェアが損傷を受けることが多く、返品許可 (RMA) による交換が必要になります。ただし、RMA を受け取った後、機器で実行されているバージョンが既存のネットワークで実行されているバージョンと一致することはほとんどありません。デバイスを交換する前に、バージョンをアップグレードまたはダウングレードする必要があります。

ただし、APIC で ACI デバイスのアップグレード/ダウングレードを実行する必要がありますが、バージョンが異なるため、現在 APIC にデバイスを追加できません。したがって、スイッチのアップグレードまたはダウングレードには CLI を使用する必要があります。



注：場合によっては、スイッチのErasable Programmable Logic Device(EPLD)/Field Programmable Gate Array(FPGA)/Basic Input/Output System(BIOS)バージョンもアップグレードする必要があります。

CLIを使用してACIバージョンをアップグレードすると、他のバージョンのアップグレードは無視されます。

アップグレード先は、APICバージョンとは異なる小規模バージョンにすることを推奨します。

スイッチがAPICに加入したら、スイッチを一貫したバージョンにアップグレードします。つまり、APICを使用してスイッチをアップグレードし、EPLD/FPGA/BIOSバージョンもアップグレードします。

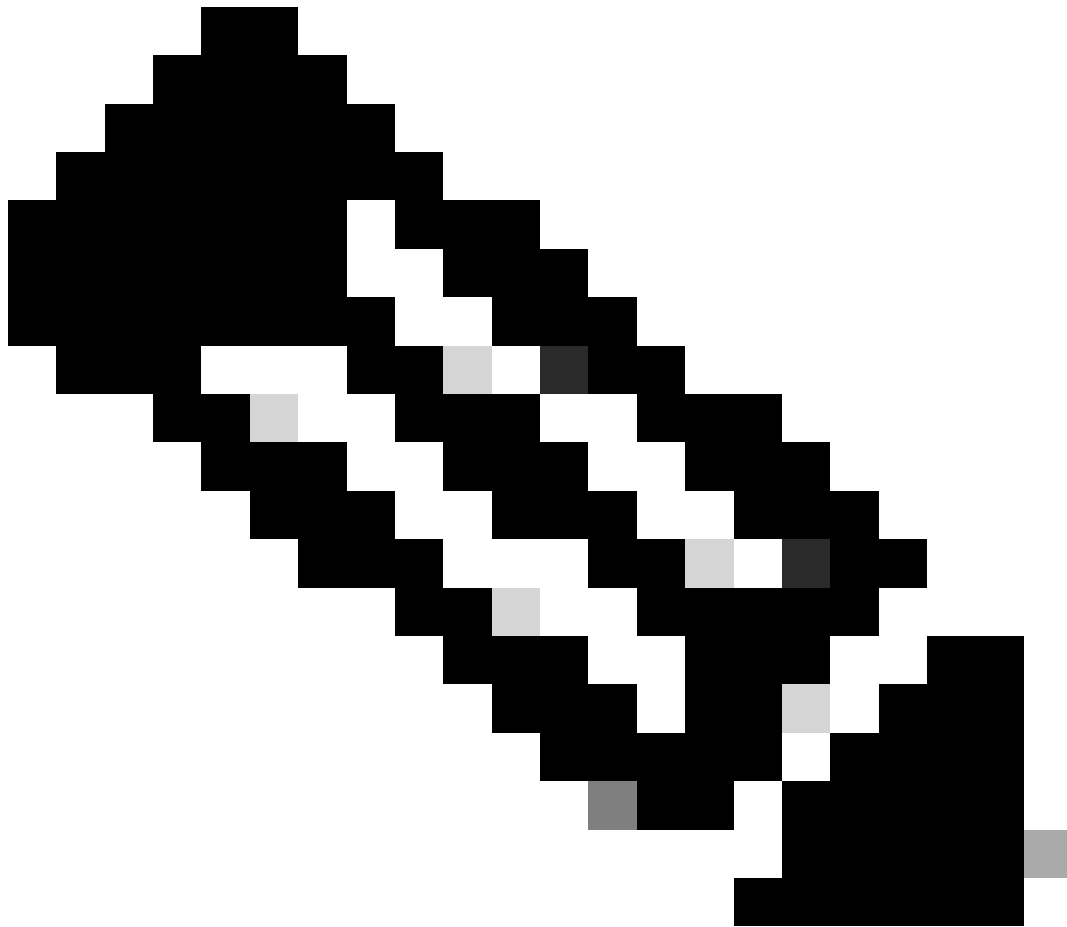
解決方法

デバイスのアップグレード/ダウングレードは、上記の5つの手順で行うことができます。

ステップ 1 : ACIファームウェアイメージのスイッチへのアップロード

USBストレージデバイスを使用して、イメージをスイッチに転送できます。

```
(none)# cp /usb/usb1/aci-n9000-dk9.15.2.8h.bin /bootflash/
```



注：スイッチが既存のスペアパーツである場合、スイッチは以前の設定のアウトオブバンド(OOB)アドレスを持つ場合があります。

この時点で、Secure Copy(SCP)やFile Transfer Protocol(FTP)などのプロトコルを使用してイメージをデバイスに転送することもできます。

```
(none)# scp user@your-scp-server:aci-n9000-dk9.15.2.8h.bin /bootflash/aci-n9000-d k9.15.2.8h.bin
(none)# md5sum /bootflash/aci- n9000-dk9.15.2.8h.bin
e9065f12d6eac79d15091f0c595ed9e5    /bootflash/aci- n9000-dk9.15.2.8h.bin
```

ステップ 2：既存のスイッチブート変数のクリア

```
(none)# clear-bootvars.sh
(none)#
```

ステップ 3 : 新しいスイッチのブート変数の設定

```
(none)# setup-bootvars.sh aci-n9000-dk9.15.2.8h.bin
(none)#
```

ステップ 4 : ブート変数の確認

```
(none)# cat /mnt/cfg/0/boot/grub/menu.lst.local
boot aci-n9000-dk9.15.2.8h.bin
(none)# cat /mnt/cfg/1/boot/grub/menu.lst.local
boot aci-n9000-dk9.15.2.8h.bin
(none)#
```

ステップ 5 : シャーシのリロード

```
(none)# reload
This command will reload the chassis, Proceed (y/n)? [n]: y
```

確認

再起動後にスイッチバージョンを確認します。

```
(none)# show version
Cisco Nexus Operating System (NX-OS) Software
TAC support: http://www.cisco.com/tac
Documents: http://www.cisco.com/en/US/products/ps9372/tsd\_products\_support\_series\_home.html
Copyright (c) 2002-2014, Cisco Systems, Inc. All rights reserved.
The copyrights to certain works contained in this software are
owned by other third parties and used and distributed under
license. Certain components of this software are licensed under
the GNU General Public License (GPL) version 2.0 or the GNU
Lesser General Public License (LGPL) Version 2.1. A copy of each
such license is available at
http://www.opensource.org/licenses/gpl-2.0.php and
http://www.opensource.org/licenses/lgpl-2.1.php

Software
  BIOS:      version 07.69
  kickstart: version 15.2(8h) [build 15.2(8h)]
  system:    version 15.2(8h) [build 15.2(8h)]
  PE:        version 5.2(8h)
  BIOS compile time:    04/07/2021
  kickstart image file is: /bootflash/aci-n9000-dk9.15.2.8h.bin
```

kickstart compile time: 12/06/2023 03:00:51 [12/06/2023 03:00:51]
system image file is: /bootflash/auto-s
system compile time: 12/06/2023 03:00:51 [12/06/2023 03:00:51]

Hardware

cisco N9K-C93180YC-EX ("supervisor")
Intel(R) Xeon(R) CPU @ 1.80GHz with 24499200 kB of memory.
Processor Board ID FD0211113N0

Device name: f6leaf101
bootflash: 62522368 kB

Kernel uptime is 00 day(s), 00 hour(s), 51 minute(s), 12 second(s)

Last reset at 560000 usecs after Thu Mar 21 23:03:15 2024 CST
Reason: reset-requested-by-cli-command-reload
System version: 15.2(8h)
Service: PolicyElem Ch reload

plugin

Core Plugin, Ethernet Plugin
(none)#

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。